



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,722	△3.7	△178	—	△157	—	△130	—
2020年3月期第1四半期	3,864	5.0	△70	—	△49	—	△58	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △120百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△16.55	—
2020年3月期第1四半期	△6.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,646	5,089	58.9
2020年3月期	9,269	6,330	68.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,089百万円 2020年3月期 6,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.1	450	3.7	500	△7.6	400	15.1	56.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	9,110,000株	2020年3月期	9,110,000株
2021年3月期1Q	2,280,031株	2020年3月期	895,031株
2021年3月期1Q	7,910,573株	2020年3月期1Q	8,502,357株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた経済活動の自粛等の影響により景気が急速に減退し、極めて厳しい状況となりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大規模や収束時期が見通せないなか、先行きも極めて不透明な状況が続くと見込まれます。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年7月に経済産業省が発表した2020年5月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比4.1%減と前年を下回ったほか、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」も前年同月比6.5%減と前年を下回りました。

このような事業環境のなか、当社グループは、「基盤事業\*の拡大と収益向上」「新規事業の創出・育成」「社員の成長と活躍を推進」を主要方針として取り組みを進めております。基盤事業においては、本年4月、大規模な基幹システム刷新の需要に対応し、コンサルティングからシステム開発・導入まで、インフラ領域もあわせてトータルに提供することを目的にIT基盤構築本部を設置いたしました。また、昨年新設したIoT&クラウドシステム事業部を中心に、当社の強みである監視制御技術を活かしたIoT関連ソリューションの提供を推進するなど、顧客のDXを実現するサービスの拡大に注力しております。さらに、新事業の育成に向けた取り組みを継続するとともに、社員の成長と活躍を支援するための働き方改革や健康経営に取り組んでおります。

緊急事態宣言発令を受けた当第1四半期連結累計期間は、従前より推奨していたテレワークを、全グループ社員を対象に原則として実施し、顧客や取引先との対応においてはWeb会議やWebセミナーを開催するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に一層努めながら、各取り組みの推進と事業の継続をはかりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部顧客において検収や発注の手続きに遅延が生じたことから、当第1四半期連結累計期間に予定していた一部案件の売上計上時期や受注時期に遅れが生じておりますが、今後解消されることを見込んでおります。

※ 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を基盤事業と位置付けております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は4,318百万円(前年同期比67百万円増、1.6%増)、売上高は3,722百万円(前年同期比142百万円減、3.7%減)、営業損失は178百万円(前年同期は70百万円の損失)、経常損失は157百万円(前年同期は49百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円(前年同期は58百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は2,594百万円(前年同期比12百万円増、0.5%増)、売上高は2,334百万円(同13百万円減、0.6%減)、営業損失は106百万円(前年同期は64百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、当第1四半期連結累計期間で見込んでいた一部の案件において手続きの遅れや規模の縮小が生じたものの、官庁系、医療系の新規案件の獲得などにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の顧客においてリリース時期の延期や検収手続きの遅れが生じたため、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に加え、不採算案件の影響により、前期比で損失が拡大する結果となりました。

#### ② SI事業

受注高は1,317百万円(前年同期比25百万円減、1.9%減)、売上高は1,019百万円(同121百万円減、10.6%減)、営業損失は30百万円(前年同期は15百万円の利益)となりました。

受注高につきましては、ERP系において新規案件の獲得などがあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により流通系案件、ホテル向け案件などで受注規模の縮小が生じたため、前期比で減少となりました。売上高につきましては、前期において売上計上のあったERP系の大型開発案件が収束したことなどにより、前期比で減少となりました。損益面につきましては、売上高の減少に伴い、損失計上となりました。

#### ③ その他事業

受注高は405百万円(前年同期比80百万円増、24.7%増)、売上高は368百万円(同7百万円減、2.0%減)、営業損

失は38百万円(前年同期は11百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、サポートサービス系が堅調に推移したことなどにより、前期比で増加いたしました。売上高につきましては、販売系が軟調に推移したことなどにより、前期比で減少いたしました。損益面につきましては、サポートサービス系において収益性が低下したことなどが影響し、前期比で損失の拡大となりました。

なお、期初に行った組織改編において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の表示合わせて組替えを行っており、前年同期比につきましては組替え後の数値によっております。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

### ① 流動資産

流動資産残高は、5,688百万円(前連結会計年度末比588百万円減、9.4%減)となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

### ② 固定資産

固定資産残高は、2,957百万円(前連結会計年度末比34百万円減、1.1%減)となりました。主な増減要因は、投資有価証券の減少であります。

### ③ 流動負債

流動負債残高は、3,361百万円(前連結会計年度末比661百万円増、24.5%増)となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加、賞与引当金の減少であります。

### ④ 固定負債

固定負債残高は、194百万円(前連結会計年度末比43百万円減、18.3%減)となりました。主な増減要因は、長期借入金の減少、繰延税金負債の減少であります。

### ⑤ 純資産

純資産残高は、5,089百万円(前連結会計年度末比1,240百万円減、19.6%減)となりました。主な増減要因は、利益剰余金の減少、自己株式の増加であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において2020年5月15日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として検収が第4四半期に集中する傾向があるため、第1四半期連結累計期間の売上高および損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の顧客において検収手続き等に遅れが生じたことから、当第1四半期連結累計期間に見込んでいた一部案件の売上計上時期に遅れが生じておりますが、2020年5月25日に緊急事態宣言が解除されたことを受け、これら手続き等の遅れを解消すべく取り組みを進めており、今後解消されるものと見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,218,020	1,676,605
受取手形及び売掛金	4,740,162	3,209,887
商品及び製品	5,850	61,429
仕掛品	179,969	565,279
その他	136,849	177,203
貸倒引当金	△3,513	△2,019
流動資産合計	6,277,338	5,688,386
固定資産		
有形固定資産	99,391	96,626
無形固定資産		
のれん	170,473	165,146
その他	82,549	76,994
無形固定資産合計	253,023	242,141
投資その他の資産		
投資有価証券	2,471,654	2,449,648
その他	174,158	174,641
貸倒引当金	△6,362	△5,260
投資その他の資産合計	2,639,450	2,619,029
固定資産合計	2,991,865	2,957,797
資産合計	9,269,204	8,646,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,213	794,852
短期借入金	-	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	226,664	201,664
未払法人税等	101,881	14,199
賞与引当金	701,755	286,410
受注損失引当金	33,667	41,907
その他	729,159	1,022,410
流動負債合計	2,700,342	3,361,443
固定負債		
長期借入金	93,344	76,678
資産除去債務	110,884	111,394
その他	34,252	6,708
固定負債合計	238,480	194,781
負債合計	2,938,823	3,556,225
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	4,446,817	4,213,830
自己株式	△325,928	△1,343,903
株主資本合計	6,365,363	5,114,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,550	20,472
退職給付に係る調整累計額	△49,532	△44,916
その他の包括利益累計額合計	△34,982	△24,443
純資産合計	6,330,381	5,089,958
負債純資産合計	9,269,204	8,646,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,864,916	3,722,764
売上原価	3,293,468	3,308,137
売上総利益	571,447	414,626
販売費及び一般管理費	642,121	593,337
営業損失(△)	△70,674	△178,711
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	1,433	1,509
持分法による投資利益	16,110	20,143
その他	9,288	7,498
営業外収益合計	26,837	29,152
営業外費用		
支払利息	1,329	1,280
支払手数料	3,005	6,214
その他	1,345	320
営業外費用合計	5,681	7,815
経常損失(△)	△49,518	△157,373
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,518	△157,373
法人税等	9,440	△26,415
四半期純損失(△)	△58,958	△130,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,958	△130,958



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△58,958	△130,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△581	5,198
持分法適用会社に対する持分相当額	2,193	5,340
その他の包括利益合計	1,611	10,538
四半期包括利益	△57,347	△120,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,347	△120,419
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月11日付で、テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社が売却した当社株式1,385,000株を自己株式として取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,017,975千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,343,903千円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,348,115	1,141,103	375,696	3,864,916	—	3,864,916
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	62,686	945	44,479	108,110	△108,110	—
計	2,410,802	1,142,048	420,175	3,973,026	△108,110	3,864,916
セグメント利益 又は損失(△)	△64,982	15,010	△11,793	△61,765	△8,908	△70,674

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,908千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,334,829	1,019,875	368,058	3,722,764	—	3,722,764
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,905	—	38,305	87,211	△87,211	—
計	2,383,735	1,019,875	406,364	3,809,975	△87,211	3,722,764
セグメント利益 又は損失(△)	△106,963	△30,496	△38,932	△176,391	△2,319	△178,711

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,319千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(報告セグメント変更等に関する事項)

期初に行った組織変更において、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属しておりました金融系が保持する技術・開発ノウハウを、顧客・業種の需要に応じて再編・集約することとし、この結果、その一部を「S I 事業」に移管することといたしました。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。